

### 第3学年 外国語活動学習指導案

日時：令和6年10月24日（木） 第5校時 場所：3年生教室

授業者：

#### 1. 題材名「Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし」

#### 2. 題材について

本題材では、アルファベットの文字を題材とする初めての単元となり、大文字とその読み方に慣れ親しむことが目標である。児童はこれまで、国語科でローマ字を学習したり、社会科の地域探検で、地域で見られるアルファベットの文字が使われた様々な標示などを発見したりしている。こうした他教科等の学習と関連付けながら指導していく。また、児童の文字への興味・関心が高まるよう、身の回りにあるアルファベットを探る活動を取り入れ、多くのアルファベットの文字に囲まれて生活していることに改めて気付かせたい。さらに、児童がこれからのグローバルな社会を生き抜くためには、他国と“違う部分”を“その国のよさ”と捉え、他国の人々と互いに尊重し合うことが大切であると考えている。日本人の名前の頭文字には使われないアルファベットがあることに気付くことを通じて、児童の異文化理解を深めていきたい。

#### 3. 児童の実態

9月に国語の授業でローマ字を学んでいるため、アルファベットの音の仕組みを理解している。また、音聲に合わせて順にアルファベットを言うこともできるようになってきた。一方で児童の中には、文字と音を一致して理解できていないアルファベットがあったり、“M”と“N”や“B”と“D”などの音が似ているアルファベットを区別して発音できていなかったりする。活動前に教師と児童のやり取りの場を確保したり、イニシャルの文字を確認したりするなどして、児童が自信をもって活動に取り組めるようにしていく。

#### 4. 研究内容に関して 【研究内容Ⅱ（2）】

活動の目的を「クラスの仲間の名前のイニシャルで多く使われているアルファベットは何かを調べる」と明確にすることで、児童が調べるために意図的に多くの仲間とコミュニケーションを図り、活動内でアルファベットの読み方に慣れ親しんでいくと考える。調べる際にタブレット端末を用いることで、即時的にグラフ

で結果を表示することができる。また、活動前に、教師同士や教師と児童でやり取りをする時間を設けることで、英語に苦手意識がある児童でも自信をもって仲間とやり取りをすることができると思える。

#### 5. 単元指導計画（別紙）

#### 6. 本時のねらい

学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、相手に伝わるようにはっきりとカードを見せながら、自分の名前とイニシャルを伝え合う。

#### 7. 本時の展開（4/4）

	学 習 活 動	指導上の手立て・留意点・支援等
導 入	<b>1 Greeting</b> <b>2 Hello Song</b> <b>3 Let's Sing 【ABC Song】</b> <b>4 Small Talk 【身の回りにあるアルファベットを紹介しよう】</b> ・タブレット端末を用いて、事前撮った写真を見せながら紹介する。 A: This is "N". This is "A". B: This is "Y". This is "S".	・黒板に活動の流れを提示し、今何をしているのかが分かるようにする。 ・事前にタブレットで、身の回りにあるアルファベットの写真を撮っておくよう伝える。
展 開	<b>5 Activity①</b> ・どんじゃんけんゲーム シャッフルしたカードを順番に並べて両端から発音し、じゃんけんをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         クラスのみんなの名前の頭文字で、多く使われているアルファベットは何か調べよう。                     </div> <b>6 Activity②</b> ・イニシャルカードを交換して名前頭文字を伝え合おう。 AB: Hello: Hello. A: I'm Kawai Harumi. "K" "H". B: I'm Heather Penn. "H" "P". AB: Here you are. AB: Thank you ・同時にタブレット端末に入力して集計をしていく。（棒グラフに表す）	・アルファベットの文字と音の一致を図る。 ・予想する時間を設け、活動への意欲を高められるようにする。 ・教師と教師、教師と児童で何度もやり取りをし、英語表現を沢山聞かせ、定着を図る。 ・カードに自分のイニシャルを書いておき、仲間と伝え合った後に交換する。 ・結果を見て分かることを問い、日本人の姓名の頭文字には使われないアルファベットがあることに気付かせる。 ・ALT に友だちの名前を紹介してもらい、日本人の名前との違いに気付かせる。
終 末	「話すこと」（やりとり）の記録に残す評価 ◎【知】身の回りには活字体で表されているものが多くあることに気づき、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しんでいる。＜行動観察＞ ◎【思・判・表】学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、カードを見せながら、自分の姓名について伝え合っている。＜行動観察＞ ◎【主】学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、カードを見せながら、自分の姓名について伝え合おうとしている。＜行動観察＞	・活動を振り返る。

5. 単元指導計画

「Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし」(全4時間)

単元目標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむとともに、相手に伝わるようにカードを見せながら自分の名前とイニシャルについて伝え合い、日本人の名前のイニシャルには使われないアルファベットがあることに気付く。

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に取り組む態度		
身の回りには活字体で表されているものが多くあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しんでいる。		学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、カードを見せながら、自分の名前とイニシャルについて伝え合っている。	学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、カードを見せながら、自分の名前とイニシャルについて伝え合おうとしている。		
時	目標(◆)と主な活動(【 】、○)【 】=誌面化されている活動	指導上の留意点	知	思	主
1	◆身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。  【Let's Watch and Think】 p.22, 23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの大文字による様々な表示を見て何を表しているかを考える。 ○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。 ・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つける。 【Let's Sing】 ABC Song p.23 ○ポインティング・ゲーム (A~M)	第1時~第3時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。  [確認する学習状況] ・アルファベットの音と文字を一致して理解しているか。 ・正しく発音できているか。 ・“M”と“N”など似ている音を区別できているか。			
2	◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。  【Let's Sing】 ABC Song p.23 ○文字を並べよう。 ・児童用巻末アルファベットカード (A~M) を並べる。 ○ポインティング・ゲーム (N~Z) ○かるたゲーム ・言われたアルファベットカードをとっていく。 ○身の回りの物の中から(教室)アルファベットの大文字を探そう。	・A~Z に順番に並べる、教師が言ったアルファベットを並べていくなど、色々な並べ方をして文字と音の一致を図る。  ・音が似ているアルファベット (“M”と“N”、“B”と“D”など)には、特に注意をするよう伝える。			
3	◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむとともに、アルファベットの形に着目して、似ているものでグループ分けをする。  【Let's Sing】 ABC Song p.23 Small Talk 学校内で見つけたアルファベットの大文字を紹介しよう。 ○ビンゴ・ゲーム 【Let's Play】 p.24 ○アルファベットを仲間分けしよう。 ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けする。	・グループで活動する際に、考えが思い浮かばない様子がみられたら、助言する。			
4	◆学級の仲間の名前の頭文字で多く使われているアルファベットは何かを調べるために、相相手に伝わるようにはっきりとカードを見せながら、自分の名前とイニシャルを伝え合う。(本時)				
	【Let's Sing】 ABC Song p.23 Small Talk 身の回り(学校外)にあるアルファベットを紹介しよう。 ○どんじゃんけんゲーム ・カードを順番に並べて両端から発音し、じゃんけんをする。 ○学級のみんなの名前で多く使われているアルファベットを調べよう。 ・自分の名前のイニシャルを伝え合う。	・アルファベットの文字と音の一致を図る。 ・予想する時間を設け、活動への意欲を高められるようにする。 ・教師と教師、教師と児童で何度もやり取りをし、英語表現を沢山聞かせ、定着を図る。	○	○	○